状況報告書（発達障害関係）

氏名	昭和 平成 年 月 日生			性別	男・女
住所					
在学期間	平成 昭和 年	月	から	令和 平成 昭和 年	月
記入について	○ 以下の配慮事項のうち必要とするものを○で囲み、それぞれについて、必要とする理由を詳しく記入してください。受験上の配慮申請書で希望した配慮事項については、必ず理由を記入してください。 ○ 高等学校等で行った配慮については、裏面に記入してください。 ○ 高等学校等に在籍していない場合は、保護者等が志願者の所属する高等学校等以外の教育機関等における状況等及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。				
	必要とする理由				
試験時間の延長 (1.3倍)	※ 試験時間の延長が許可された場合、別室となりますが、延長が許可されなかった場合でも、別室を必要とする場合は、下記の別室の設定欄に必要とする旨とその理由を記入してください。				
配慮事項（必要とするものを○で囲んでください）	※ 必要とする理由を記入してください。また、高等学校等で使用している教科書や定期試験等での状況（拡大コピーをして配付しているなど）についても併せて記入してください。				
解答の拡大文字					
注意事項の伝達					
別室の設定	※ 必要とする理由を記入してください。特に個室（試験室に受験者1名）を必要とする場合は、その理由についても併せて記入してください。 ※ 状況報告書（別室の設定）を提出する必要はありません。				
その他 (リスニングの免除等)					
上記のとおり状況等を報告する。 令和 年 月 日 高等学校等の名称・所在地 _____ 校長名 _____ 職印 記載責任者（志願者との関係・氏名） _____ 印					

状況報告書

過年度のものなので、使用しないでください

（キリトリ線）

〈 状況報告書は裏面に続きます 〉 独立行政法人大学入試センター (R2)

【高等学校等で行った配慮について、「している」又は「していない」を○で囲んでください。】

1 「読み」「書き」等における配慮

- (1) している ※「している」を選択した場合は、その具体的な内容を、下記に必ず記入してください。
(2) していない

2 定期試験等の評価等における配慮

- (1) している ※「している」を選択した場合は、その具体的な内容を、下記に必ず記入してください。
(2) していない

3 個別の指導計画の作成

- (1) している ※「している」を選択した場合は、必ず申請書・診断書・本書とともに提出してください。
(2) していない

4 個別の教育支援計画の作成

- (1) している ※「している」を選択した場合は、必ず申請書・診断書・本書とともに提出してください。
(2) していない

5 その他の支援・配慮

- (1) している ※「している」を選択した場合は、その具体的な内容を、下記に必ず記入してください。
(2) していない また、各種アセスメント結果等についても下記に記入してください。

【高等学校等で行った配慮の具体的な内容（上記（1, 2, 5）で「している」を選択したものについて、必ず記入してください。】

1 「読み」「書き」等における配慮

**過年度のもののなので、
使用しないでください**

2 定期試験等の評価等における配慮

5 その他の支援・配慮及び各種アセスメント結果等